

授業概要

「保育内容の研究（表現-音楽）Ⅰ」を踏まえ、幼稚園、保育園等の保育現場における、音楽的表現活動の実践的な展開方法について指導する。子どもへの音楽指導、保育現場での音楽遊び指導経験、演奏家としての経験を生かし、わらべうたや身体、楽器、リズムを用いた表現活動を通して、自身の感性を磨くと共に表現する力を高められるよう指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス 保育における領域「表現」、子どもの発達と音楽的な表現
第 2 回	言葉と音楽①言葉とリズム
第 3 回	言葉と音楽②言葉のリズムを用いたアンサンブル
第 4 回	言葉と音楽③即興的な表現
第 5 回	動きを伴う音楽的な遊び①身体表現
第 6 回	動きを伴う音楽的な遊び②わらべうた
第 7 回	動きを伴う音楽的な遊び③まりつき
第 8 回	簡易楽器の特徴と指導法、アンサンブル
第 9 回	唱歌を用いた音楽活動
第 10 回	和楽器を用いた音楽活動
第 11 回	楽器の発音原理と音作り
第 12 回	音楽創作劇の計画と実践 グループ活動①ガイダンス、台本の作成
第 13 回	音楽創作劇の計画と実践 グループ活動②役割分担、音作り、制作活動
第 14 回	音楽創作劇の計画と実践 グループ活動③音作り、制作活動、発表準備
第 15 回	音楽創作劇の計画と実践 グループ活動④発表準備、リハーサル
第 16 回	作品発表会

到達目標

- ・子どもの音楽表現が、五領域の相互的な関わりの中で成り立っていることを理解できる。
- ・保育における領域「表現」を踏まえ、子どもの音楽的な遊びに対する指導、支援方法について理解することができる。
- ・子どもの発達を踏まえた、音楽的な表現を伴う遊びの計画および実践ができる。

履修上の注意

- ・活動への準備、音楽遊びの実践等グループ活動、事前準備等に積極的に取り組むこと。
- ・各課題を期限内に提出すること。
- ・「保育内容（表現-音楽Ⅰ）」履修者が望ましい。

予習・復習

- ・毎回、授業内容の復習をし、練習や準備が必要な回には、必ず取り組んでから授業に臨むこと。
- ・幼稚園教育要領にある「表現」の項をよく読んで授業に臨むこと。

評価方法

グループ発表 40%、レポート 20%、課題提出 20%、授業態度と協調性 20%により、総合的に評価する。

テキスト

・教科書名：『保育・教育のための実践事例で理解するわかりやすい「表現」-幼児期の終わりまでに育って欲しい 10 の姿-』

・著者名：梅澤実・森本昭宏〔編著〕

・出版社名：創成社

・2020 年 (ISBN)： 978-4-7944-8099-6

※その他、随時、プリントを配布する。

※参考文献

・『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『小学校学習指導要領』